Pick Up

介護・支援
訪問介護・居宅介護
移動支援・相談支援

6歳〜18歳
放課後等デイサービス

「10年後の笑顔のために、"ほんものの療育"に出会ってほしい」

放課後等デイサービスが急増中だ。障がいのある子どもが放課後や長期休暇中に通う施設で、民間事業者の参入で利用者の選択肢が広がる一方、厚生労働省からは、内容が不十分な施設もあるという指摘も…。「ほんものの療育」を掲げる豊中市のAnge(アンジュ)を取材した。（取材・文　渡部せつ子）

◉適切な療育でゆっくり確実に成長する子どもたち

阪急服部天神駅から歩いて1分。住宅街のマンション1階に放課後等デイサービス「アンジュ」はあった。教室の扉を開けると、小1から高3までの発達に課題があったり、障がいのある子どもたち9名にスタッフ5名がついて凧作りの真っ最中。人気アニメのキャラクターをマジックでビニールに写し取ると、カラフルな凧の出来上がりだ。5年生のA子ちゃんは、スタッフと一緒に部屋の中で駆け足で凧揚げを始めた。その様子を見ていた管理者の郡（こおり）奈美さんはみるみる涙目に。

「A子ちゃんは、5年前に通い始めたときは左半身マヒで、左脚に装具を着けていました。去年まで凧がヒラヒラ動くのを怖がっていたのに…。障がいがあっても、適切な療育を早くから受けることで、子どもはゆっくりですが必ず成長します。それを皆さんに知ってほしい」。

正月休み明けのこの日はみんなで凧作り。大好きなキャラクターのカラフルな凧ができた。

おやつの和菓子に合わせて薄茶を点てる。上質の抹茶はおいしくお替わり3杯の子も。

プロの講師を招いて書道に挑戦。ほかに体育館、クッキング、工作などのプログラムも。

リズム運動の訓練を続けていると、縄跳びもこんなに上手に。

◉18歳でイエス・ノー・ヘルプが誰に対しても言えるように

郡さんによれば、心身の発達の道筋は障がい児も健常児も同じだそう。つまり、寝返り、ズリ這い、ハイハイ、高這いから二足歩行へ。「中でも重要なのはズリ這い等で、足の親指で床を蹴ることで土踏まずができます。ズリ這いをせずに歩き出した子は動きにぎこちなさが残ります。そこでアンジュでは、一人ひとり発達でつまづいた段階に戻ってリズム運動をおこない、スムーズな動きを獲得していきます。それは体だけに限らず、心（内面）の育ちも同じです。A子ちゃんの改善も、リズム運動とマッサージを積み重ねた結果です」。

重度の障がい児も通うアンジュの療育目標は「18歳までにイエス・ノー・ヘルプが、いつでもどこでも誰にでも言える、生きる力を身につけること」だという。

◉最重度の障がい児を育てた経験を道しるべにして

「健常児と同じような経験をすることで、一人ひとりが輝ける場を!」と郡さんの思いは熱い。例えば茶道や書道、日舞などもプロの講師に教えてもらい、子どもたちは晴れ着を着て初釜の点前をしたり、発表会で踊ったり。総勢50余名のサマーキャンプも毎年実施している。「着物を着て晴れ舞台に立ち、カッコいい自分に気づくと自己肯定感が生まれ、笑顔になれます。キャンプなど集団生活を通して社会や人とどう関わるかを身につけるのです」。

アンジュがスタートしたのは2012年8月。最重度の知的障害とてんかん、自閉症を併せ持つ息子さんを育てた水上延洋さん・さゆりさん夫妻が運営主体の徳洋福祉会を創業。さゆりさんは「10年前まで私はいつ寝たのか、食べたのか分からない暮らしでした。息子は発語が無く多動で昼夜逆転。夜は息子の足と私の足を縛って寝ました。でも、様々な人と関わったおかげで素敵な息子になったんです。現在24歳。おなかがすいたら『ご飯食べます』と言えるし、買い物に行きたいときは財布を出して『お金ください』（笑）。そんな経験が、藁にもすがりたい親御さんたちの道しるべになればと…」。

スタッフは郡さんを中心にこの仕事が大好きなベテランがそろう。国の規準は利用者5人にスタッフ1人だが、アンジュでは利用者2人にスタッフ1人を配置。郡さんもさゆりさんも「ほんものの療育を見てほしい」と口をそろえる。

リズム運動では一つひとつの動作から発達の課題を見定める。

スタッフが利用者2人に1人つく手厚い体制。

スタッフは経験豊富な療育のスペシャリスト。「きょう、Bちゃんはこんなことができた。C子ちゃんが笑った」などと毎日感動の連続。

Interview

Ange
管理者
児童発達支援
管理責任者
郡（こおり） 奈美（なみ） さん

保育士・介護福祉士。幼稚園教諭を経て障がい児の療育に携わる。「障がいのある子はこだわりや感覚の過敏さから、薬が飲めず、以前の職場ではインフルエンザで亡くした経験も。だからこそ1日1日を大切に、子どものことを一番に療育に取り組んでいます。素直なこの子たちが大好きです」。

◉家庭でも学校でもない第三の居場所を

全国の放課後等デイサービス利用者数は1年目の約5万人から5年目の昨年には約14万人に急増。療育が必要な子どもの選択肢が広がる一方、療育の質が不十分な施設が増えているとの指摘もある。

さゆりさんは「療育の成果は一朝一夕には現れません。ご家族と協力しながら5年でつぼみがふくらみ、10年で少し花が開く。10年後の笑顔のために今の活動があるんです」。徳洋福祉会では訪問介護や居宅介護、移動支援、相談支援事業などのサービスも設け、家族も含めた多角的なサポートを展開。家族への研修制度で家庭環境を整え、療育の効果をより高めている点も注目したい。

さゆりさんは「お母さんが一人で抱え込まないで、周囲に託すことも必要です。家庭でもない、学校でもない、第三の居場所は、きっとお子さんの成長にもつながるはず」と話している。2月4日（土）、3月4日（土）にはアンジュのプレ体験会が開催されるそうだ。

夏休みには、みんなでサマーキャンプに出かけて、スイカ割りや手づくりのソーメン流しを楽しむ子どもたち。仲間や支援者とともに様々な経験を積んで、大きく成長していく。

袴を着て、一人ひとりお点前を披露した初釜のイベント。

アンジュの1日（平日13時〜17時）

- お迎え・来所（学校までお迎え）
- はじまりのあいさつ
- リズム運動
- おやつ（季節にちなんだおやつや自分たちで作るおやつも）
- プリント学習（時間がある時には）
- おたのしみ（テーブルシアター等）
- 好きな遊び
- お帰り・帰宅（ご自宅までお送り）

※夏休み、冬休み等は11時〜17時

放課後等デイサービスAngeプレ体験会　参加無料（要予約）
2月4日（土）・3月4日（土）各9時半〜11時半　定員:各日8名
放課後等デイサービスを検討している方、一度アンジュの療育を体験してみてはいかが。

「支援手帳活用術」研修　参加費500円（要予約）
4月21日（金）・5月19日（金）（全2回）9時半〜11時半
相談事業に携わる**宮崎充弘さん**を講師に迎え、切れ目のない支援を受けるための活用術を学ぶ機会。

子育てちょこっと相談室　（費用:無料　要予約　相談時間お一人様90分まで）
毎週火・木曜日　10時〜12時
第1・3土曜日　10時〜12時
対象:0歳〜小学生のお子様がいらっしゃる保護者の方
お子さんの発達で気になることがある方、発達のプロが一緒に考えます。気軽にご利用を。

スタッフ募集中
障がいのある子どもの小さな成長を自分のことのように喜べる人、一緒にやってみませんか?
まずはご連絡を。

放課後等デイサービス Ange〈アンジュ〉　Ai介護サービス、相談支援事業 At home

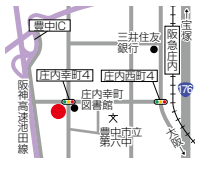
【Ange】
豊中市服部豊町1-6-7 矢内ハイツ服部1F東
営／9時半〜18時半　第2・第4土曜、日曜定休
06-6151-2996

【Ange庄内】
豊中市庄内栄町 4-2-1
営／9時半〜18時半　第2・第4土曜、日曜定休
06-6398-7587

http://www.tokuyo.me/
Mail : info@tokuyo.me

【Ange】

【Ange庄内】



株式会社徳洋福祉会
事業部長
水上 さゆり さん

保育士、介護福祉士、ガイドヘルパー、相談支援専門員。「次男が低出生体重児で、てんかん発作、最重度の知的障がいを持って生まれ、壮絶な日々を送りました。今度は私の経験が皆さんに役立てばと起業しました」。